

令和2年度 経営発達支援計画

事業評価・検証委員会報告書

小規模事業者事業の持続的発展を図ることを目的に、商工会・商工会議所が、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援することや、地域活性化につながる展示会開催等の面的な取組を促進するため、小規模事業者の技術の向上、新たな事業分野の開拓、その他の小規模事業者の経営の発達に特に資する伴走型企業支援計画を「経営発達支援計画」として経済産業大臣が認定する仕組みが導入された。

板柳町商工会では「経営発達支援計画」を策定の上申請を行い、平成31年3月15日付にて、経済産業大臣より認定を受けた。

そこで、計画に基づき実施した事業について評価・検証するための「事業評価・検証委員会」を開催した。(5カ年計画の2年目)

(1) 構成委員

No.	役職名	氏名
1	委員長 板柳町商工会 副会長	会津 秀悦
2	副委員長 21あおもり産業支援センター 支援員	山田 貴弘
3	委員 板柳町役場 産業振興課 課長	小枝 秀博
4	委員 青森県商工会連合会 広域支援課 課長	山田 剛

他 事務局長：諏訪浩徳、経営指導員：佐藤春彦、伊藤由希子

(2) 実施日時

令和3年3月16日(火) 11:00~12:00

(3) 実施場所

板柳町商工会館1階

(4) 実施内容

- ・委嘱状交付
- ・経営発達支援計画の具体的な内容と計画値並びに実績値の詳細説明・報告
- ・委員からの意見
- ・評価表の記入

(5) 内容詳細

◎経営発達支援計画の具体的な内容と計画値並びに実績値の詳細説明・報告
事務局で作成・集計した各事業の資料に基づき、すべての事業について実績説明を行った。

◎委員からの意見

- 1) 経営分析の件数は、予定通りであるが、とても多いと感じる。またコロナ禍で創業者が少ないことが予想される中、創業支援を行っていることも評価できる。
- 2) 専門家派遣が22件であり、コロナで厳しい事業所に寄り添い事業所の要望に応えた結果だと思う。
- 3) 地域ブランド認定協議会の関係では、早めに取り組むことが必要であり、それが今後の実績につながると思う。
- 4) 販路開拓については、コロナ禍で大変な時期であるので、今後に期待したい。
- 5) 金融斡旋の件数は非常に多いと感じる。コロナで事業所の売上状況が厳しい中、返済据え置きや無利子期間などを経てくると、また事業所が置かれている状況が変わってくるので、その時にまた伴走型支援が必要になってくるし、2～3年後につながる指導をお願いしたい。

◎評価表の記入

委員による評価結果は次項掲載。

(6) 検証結果及び所見

以上の検証・議論の結果を以下に集約する。

- (1) 廃止となる事業等
該当なし
- (2) 改善、見直しが必要な事業
 - ・地域ブランド化の早めの取組
 - ・販路開拓支援の実施